



内閣府（防災担当）

防災対応のための南海トラフ沿いの異常な 現象に関する評価基準検討部会（第1回） 議事要旨

1. 検討部会の概要

日 時：平成30年10月17日（水） 13：00～15：00

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：山岡座長、井出委員、宇根委員、汐見委員、堀委員、松澤委員、宮澤委員、
横田委員

2. 議事概要

事務局から本部会で検討する主な論点の説明を行い、半割れケース、一部割れケースの評価基準等について議論を行った。主な意見は、次のとおり。

- 半割れケース等、各ケースと評価する基準について、理学的な議論だけで確定的に決める事は困難であり、「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」では、本部会の資料を参考に議論をしてもらうことになるのではないか。
- 時空間ETASを用いることで最初の地震発生後の地震発生の可能性を確率値で示すことができるため、評価基準の検討においては、これも活用するのがよいのではないか。
- 日向灘で発生する地震について、将来知見が蓄積されれば個別に扱える可能性はあるが、現時点では他海域で発生する地震と同じように扱うべきではないか。
- 評価基準の検討においては、どのようなタイミングで、どのようなデータが入手可能かも重要である。これらを整理すべきではないか。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 高橋 伸輔

同参事官補佐 岩村 公太

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820